



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩
郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

暑さに負けず

園長 宮竹 恒

暑中お見舞い申し上げます。

7月「九州豪雨」によって被害を受けられた方々に謹んでお見舞い申し上げます。

今年は、新型コロナウイルスに端を発し、命の大切さ、当たり前前に思っている生活が出来ることの大切さについて、考えさせられることが多々あります。

学園の子どもたちが外で遊んでいる姿を見ると、笑顔で元気に生活できることが、何より大切であると感じます。

夏を迎え、例年であれば夏まつりに多くの方々にご参加頂き、子どもたちの成長した姿をお伝えする所ですが、今年度は若竹だよりを通して、子どもたちの元気な姿を紹介させて頂きます。

子どもたちは、天気の良い日は、外でよく遊んでいます。サッカーやバトミントン、鬼ごっこ等をして過ごします。最近では、縄跳びが小さなブームになっており、一生懸命に練習するので、縄（プラスチック製）が切れてしまうこともあります。

中学生の中には、ランニングに力を入れている児がおおり、園庭を何周も走ります。学園のランニングコースは、坂道もあり良いトレーニングになっています。職員も子どもたちと一緒に遊び、時には一緒にランニングもしています。

子どもたちの楽しみの一つに職員と一緒に掛ける散歩があります。山道、遍路道を歩くのは大変だと思いますが、いつの間にか長い距離を歩きたいと思うようになります。

自然の中で、自発的に、遊びや活動を行っていることで、体力が養われ元気に過ごすことが出来ています。

また、日々の遊びやスポーツを集団で行うことは、ルールを学び、人間関係を学ぶ大切な時間になっています。

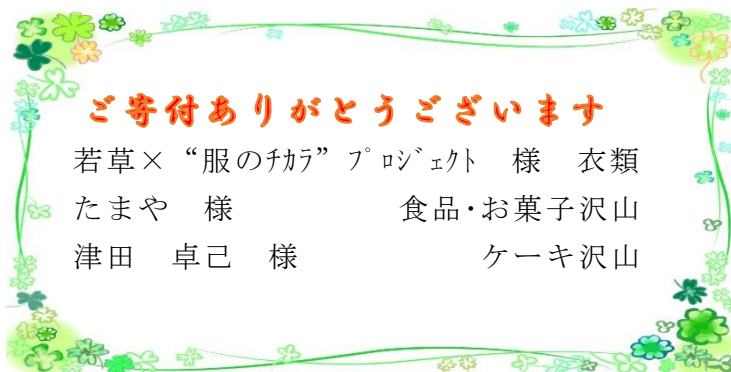
一昔前は、夏になると夕日が沈むまで空き地や公園で遊ぶことが当たり前で、時間が経つのが早く感じられたものでした。遊びの中で自然と学んだことも多くありました。

昨今、「ゲーム依存症」が、社会問題となり成長期の子どもの遊び方について見直しされる中、自然の中で過ごす時間は大変貴重であると思います。

今年は、例年より短い夏休みとなりますが、子どもたちにとって、良き思い出となるよう学園の環境を活かした遊びや活動を行っていきたくと考えています。—了—

ご寄付ありがとうございます

若草×“服のチカラ”プロジェクト 様 衣類
 たまや 様 食品・お菓子 沢山
 津田 卓己 様 ケーキ 沢山



青峰・若竹学級だより

総合学習



小学生が総合的な学習の時間を活用して、「遍路小屋周辺の美化活動と花壇の整備」に取り組みました。お遍路さんが気持ちよく過ごせるように、一生懸命草抜きなどに励みました。



また、七夕の飾りを折り紙で作り、学校が華やかになりました。

学年末テスト

7月9・10日に中学校では1学期末テストを行いました。時間いっぱい問題に取り組む真剣な姿が見られ、成長が感じられました。



理科の実験

小学6年生の理科で、植物のからだのはたらきについて学びました。植物の葉は日光を浴びることででんぷんを作り出すことを確かめました。



中学校でも各学年の学習内容に沿って、植物の観察や光の実験などを行い、予想と結果を比べるおもしろさを実感しながら、学びを深めることができました。



水泳学習

小中合同で水泳学習を行いました。25メートルを速く泳ぐことや、自分は何メートル泳げるのかなど、自分の目標を決めて一生懸命練習していました。友だちと遊ぶだけでなく、教え合ったり競争したりしながら、楽しい水泳学習の時間を過ごすことができました。





七夕の飾りつけをしました。中学生の男の子達が取ってきてくれた大きな笹に女の子達が作ってくれた飾りでとても華やかな仕上がりになりました。中には「去年よりも難しい飾りを作りたい」「大きな飾りを作る」と話す子どももいて、一生懸命製作していました。作り終えた子どもは「出来た！」と嬉しそうに見せてきて、私たち職員もとても嬉しい気持ちになりました。

また、それぞれの願い事を短冊に書き、自分達で飾り終えた子どもたちも「綺麗」と言ながら笹を見上げていました。子ども達と一緒に七夕について話ながら製作することは、とても楽しかったです。



この日のおやつは職員手作りのパフェでした。アイスクリームにクッキー、果物、チョコレート、ホイップクリームなどを乗せて、



豪華なパフェが出来上がりました。一人一人、乗せたいものを選んで、自分だけのパフェを完成させていました。よっぽど美味し

かったのかみんなあっという間に食べ終わっていました。



日本舞踊の稽古が再開しました。練習ができなかった期間を感じさせず、自分一人でテキパキと着付けをこなすことができていまし

た。

しかし踊りは、思うように踊ることができず、涙を流しながらも一生懸命に取り組んでいました。

子どもたちにとっては、とても貴重な経験になっていると思いました。

頑張れ……！



4月からコロナウィルスの影響で中止になっていた太鼓の稽古が始まりました。学園中に『ドーン！ドーン！』と大きな音が響き渡ります。

初めて参加する子どもも最初は不安そうでしたが、太鼓を前にすると顔を輝かせてバチを振っていました。昨年参加していた子はさすがの腕前。中には、みんながリズムを取りやすいように前の大きな太鼓でお手本を叩くよう頼まれた子もいました。始めは恥ずかしそうにしていた中学生も、先生と一緒に掛け声を出したりカッコいい型で太鼓を叩いたり、率先して練習を盛り上げてくれた姿が印象的でした。



今年度の練習は始まったばかりで、まだ太鼓の音もバラバラです。これから練習を重ねていくうちに、綺麗に揃った音が学園に響くことを楽しみにしています。

7月行事

11日	遍路小屋奉仕活動 (清掃:男児)
18日	遍路小屋奉仕活動 (清掃:女児)
18日	太鼓指導
毎週水曜日	日本舞踊指導 遍路小屋奉仕活動 (清掃:職員)

在籍人数

令和2年8月1日現在

区分		県内	県外	一保	合計
		(人)	(人)	(人)	(人)
男子	小学生	4	2	0	6
	中学生	8	1	2	11
	計	12	3	2	17
女子	小学生	4	0	0	4
	中学生	3	1	0	4
	計	7	1	0	8
合計		19	4	2	25

編集後記

今月は、子どもの習い事が再開しました。職員に見せる顔とは違う表情や、真剣に取り組んでいる子どもたちの姿を知ることができました。

先生に教わりながら更に成長していく様子を見られるのが楽しみです。

(大室)

第316発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

